

事務事業評価表 平成22年度

政策 環境と調和する都市の構築  
 施策 循環型社会の形成  
 基本事業 ごみ資源化の推進

事業名 **リサイクルバンク運営事業**

[0006]

部名	生活環境部	事業開始年度	昭和62年度	実施計画事業認定	非対象
課名	環境室減量推進課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	<p>(誰、何に対して事業を行うのか)</p> <p>世帯</p>
意図	<p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>利用可能な家具や物品等について、ごみとして廃棄するのではなく、別の家庭で再利用する場を提供することで、市民にリユース意識の啓発を図り、合わせてごみ排出量の抑制を図る。</p>
手段	<p>(事務事業の内容、やり方、手段)</p> <p>家庭や事業所で不用になり廃棄しようとする家具や物品等のうち、修理・調整等をしないでそのまま利用可能なものについて回収し提供を受ける。提供された物品等を展示し再利用を希望する市民に無償で提供する。平成21年度から運営を民間委託、展示施設はリース方式により実施している。</p>

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度当初
対象指標1	世帯数	世帯	52,490	52,902	53,242	53,242
対象指標2						
活動指標1	リサイクルバンク回収点数	点	1,271	1,180	1,540	1,300
活動指標2						
成果指標1	リサイクルバンク来場者数	人	4,408	4,451	7,702	4,400
成果指標2	リサイクルバンク再利用点数	点	1,248	1,073	1,452	1,300
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	1,866	1,649	4,753	4,921
正職員人件費 (B)		千円	4,187	4,179	3,319	3,331
<b>総事業費 (A) + (B)</b>		<b>千円</b>	<b>6,053</b>	<b>5,828</b>	<b>8,072</b>	<b>8,252</b>

費用内訳	
21年度	委託料 3,919千円、使用料及び賃借料 834千円

# 事業を取り巻く環境変化

事業開始背景		事業を取り巻く環境変化	
--------	--	-------------	--

## 21年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

- 義務的事務事業
- 妥当である
- 妥当性が低い

理由・  
根拠は？

不用品の再利用を促進するとの趣旨から、本事業を市で行うことは妥当である。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

- 貢献度大きい
- 貢献度ふつう
- 貢献度小さい
- 基礎的事務事業

理由・  
根拠は？

一括処理が難しく取扱量に限りはあるが、リサイクルやごみ減量化に対する啓発効果が大きく、一定の貢献はある。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由、でていない理由は何ですか？

- あがっている
- どちらかといえばあがっている
- あがらない

理由・  
根拠は？

ごみ減量とともに「もったいない」などのリユース意識啓発に対し、一定の効果が認められる。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

- 成果向上余地 大
- 成果向上余地 中
- 成果向上余地 小・なし

理由・  
根拠は？

多少の利用増の余地はあるが、制度の趣旨から大きな増加は期待できない。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

- ある
- ない

理由・  
根拠は？

利用者と利用点数が伸びている中で、開館時間や提供品回収回数等のコストの削減は難しい。